

会議記録（要旨）

会議名	平成27年度 第3回子ども読書活動推進懇談会
日時	平成28年1月19日（火） 午後6時～8時
場所	中央図書館 児童資料室
出席者	委員 岩崎委員、津田委員、滝田委員、沼田委員、増田委員、楠本委員、石川委員
	事務局 吉川中央図書館次長、企画運営係（井口係長、松澤）、事業係（奈良係長、杉本）
配付資料	<p>第3回杉並区子ども読書活動推進懇談会次第</p> <p>資料1 平成27年度子ども読書活動進捗管理票</p> <p>資料2 平成27年度子ども読書活動事業報告書</p> <p>杉並区子ども読書活動推進計画の改定について</p> <p>杉並区子ども読書活動推進計画（平成28・29年度）（素案）</p> <p>その他 委員持ち寄り資料</p>
<p>1 開会</p> <p>2 平成27年度第3四半期の活動について</p> <p>事務局 プレママ・プレパパへの読み聞かせ講座で、方南図書館が和泉保健センターの母親学級への参加を続けているが、その時に0歳児向けのおすすめ本リストの配布を行った。ブックスタート事業で、今年度から視覚障害の保護者に対して点訳絵本を配布できるようになった。現時点で対応事例は無い。</p> <p>引き続き宮前図書館の出張おはなし会が実施された。他の図書館でも広がっていくとよいと思う。</p> <p>ボランティア養成講座修了生への支援で、高井戸図書館にて「パネルシアター講座」が実施された。読み聞かせ講座は様々なところで実績はあるが、パネルシアターの講座は珍しいのではないかと思う。</p> <p>学校関係では、親子読書カード（うちどく）の報告、また、給食コラボ事業が多く実施されている。最近、学校によっては、児童生徒の人数が増え、教室不足になり、学校図書館のスペースが普通教室になるという報告がきている。それでも、学校司書が配置されているから部屋としての学校図書館は一時的に無くなったとしても、学校図書館の機能は残ると聞いている。また、学校によっては、24クラスある学校もあれば、6クラスの学校もあり、それでも、学校司書は1校一人で担当している。24クラスを一人で担当するのは大変だという課題も出てきた。</p> <p>YAルームの開設だが、中央図書館にYAコーナーを設置した。書架を譲り受けたことをきっかけに設置したため、まだ発展途上の部分はあるが、コーナーか</p>	

らでも少しずつ進めていければと思う。

3 子ども読書活動推進計画について

事務局より、杉並区子ども読書活動推進計画の改定について、子ども読書活動推進計画（平成28・29年度）（素案）をもとに説明。

委員 目標値を増やした根拠は何か？

事務局 計画に基づき積算をしたことによるものである。

委員 方向性はよいと思う。

図書標準を達成するために予算を有効活用して欲しい。学校図書館活用モデル校を展開して欲しい。外国語図書は、地域特性を考えて置くとよい。地域によってインド系、中国系の人が多かったりする。

委員 数字が一人歩きしてしないように、計画としっかりあわせて実質的な読書活動に結び付けていていただきたい。

委員 単に数値のみを追い求めることにならないようにして欲しい。達成出来た理由をもっと強調してもいいのでは？

事務局 検討する。

委員 全国との対比は？

事務局 参考資料に盛り込んでいる。

4 その他

委員が持ち寄った資料をもとに意見交換。

新聞記事、図書館の方向性、視察報告、研究発表会など。